

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## イオン九州株式会社（証券コード:2653）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- イオングループの九州地域子会社。20年9月1日付でマックスバリュ九州およびイオンストア九州を吸収合併しており、21年1月末の店舗数はスーパーマーケット・ディスカウントストア181店、総合スーパー（GMS）66店、ホームセンター（HC）32店、その他36店となっている。本経営統合は同グループのスーパーマーケット事業改革の一環として実施されており、食品分野の強化および非食品分野の専門化を進めていく方針である。
- 当社の格付には、イオングループの信用力を強く反映させている。経営統合後においても資本面、事業面における同グループとの緊密な関係に特段変化はない。業績は食品部門を中心に堅調に推移していくとみられる。商品や物流、組織など幅広い分野で強化策を推進していくことで、今後、収益力の向上は可能と考えられる。財務基盤は経営統合により強化されている。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 21/2期営業収益は3,400億円（前期比52.8%増）、営業利益は18億円（同2.9倍）と増収増益の計画である。GMS事業がコロナ禍もあり苦戦しているものの、期中における経営統合のほか、HC事業における既存店売上高の増加などがその背景にある。更なる収益基盤の拡大に向け、商品調達力および開発力の強化のほか、新規出店や生鮮食品の強化に向けた既存店改装、生産性向上などの取り組みが進むとみられる。今後、3社の経営統合によるシナジー効果の発現状況を確認していく。
- 21/2期第3四半期末の自己資本比率は21.5%（20/2期末14.3%）と経営統合により上昇した。店舗改装などの設備投資を継続的に実施していくとみられる。ただ、現時点では大型投資の計画はなく、設備投資は営業キャッシュフローの範囲に収まると考えられる。また、経営統合による資金効率の改善なども進め、有利子負債は減少していく見通し。自己資本の蓄積も見込まれ、中期的に財務内容の改善が進むと予想される。

（担当）大塚 浩芳・金井 舞

### ■格付対象

発行体：イオン九州株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	150億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年2月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2020年5月29日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) イオン九州株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル